

「平成」をポップカルチャーで振り返る3連展第2弾 「平成展 2000-2009」を開催！

～今回は、平成のちょうど中間にあたる過渡期の10年間～

六本木ヒルズ展望台 東京シティビューは株式会社カイユウ(KAI-YOU)と共催で、平成に生まれた文化を改めて捉え直す展示「平成展 2000-2009」を、2018年12月17日(月)～2019年1月31日(木)にかけて開催いたします。

「平成展」は、平成の終わりという節目を鑑賞者自身の記憶と共に振り返る三連展として全3回の開催となります。東京シティビューが新しくオープンした小展示スペース「東京カルチャーリサーチ」にとって、記念すべきローンチイベントとなった同展第1弾「平成展 1989-1999」は平成に思いを馳せる幅広い世代の方にお越しいただきました。

2018 平成展/TCR/KAI-YOU
「平成展 2000-2009」
メインヴィジュアル



「平成展 2000-2009」とは

第2回目の展示となる今回は、2000年から2009年の10年を振り返ります。

平成の30年の中でちょうど中間に当たるこの10年は、多くの識者たちや文化/社会評論において「00(ゼロ)年代」と呼ばれ、平成だけでなく20世紀/21世紀という大きな時代の区切り。そして、橋渡しとなった年代だとも言えます。

情報技術が飛躍的に向上し、世の中のほとんどの人が携帯電話やスマートフォンを手を持って自由にネットに繋がる中で、より個々人の趣味嗜好が細分化していき、政治や宗教、マスメディアといった大きな物語が後退し、人々は自分たちというコミュニティによる「小さな物語」を生きるのが当たり前になりました。

それに伴い、これまで「オタク」的、「不良」的だったものが普遍化し、かつてサブカルチャーと呼ばれた分野がポップカルチャーとして広がっていきます。時には奇異の対象とみられた漫画やアニメやゲームが「当たり前のもの」として広がってきました。今回は、そんな「小さな物語」を 組織から個人への変容 セカイ系の系譜 都市と地方の分断 繋がりを生む情報技術という4つの軸から点と線によって結んでいく展示となります。

期間中、トークイベントを実施

ゼロ年代を4つの軸から語るトークイベントを音楽、マンガ、批評、雑誌など各ジャンルで活躍する方々をお呼びして開催します。日程やその他詳細は、後日、公式WEBサイトで公開いたします。

「平成展 2000-2009」開催概要

日時： 12月17日(月)～1月31日(木) 10:00～22:00(最終入館 21:30) 不定休
場所： 東京カルチャーリサーチ
(六本木ヒルズ森タワー52階 THE SUN & THE MOON 内、約17㎡の小展示スペース)
料金： 無料 ただし、展望台・森美術館の入館料(一般1,800円他)が必要です
企画： KAI-YOU、東京シティビュー
制作協力： 牛嶋みさを、つむら工藝、bpm
詳細： <http://kai-you.net/heisei>
問い合わせ先： 株式会社カイユウ info@kai-you.net

「平成展 2010-2019」は2019年3月1日(金)から2019年4月30日(火)にて開催予定です。



< KAI-YOU >

エンジニア、3DCG/UI デザイナー、編集者、映像ディレクター、プランナーからなる「すべてのメディアをコミュニケーション + コンテンツの場」に編集・構築することを目的とした会社。2008 年より活動開始、2011 年に法人化。月間 2000 万 PV のポップータルメディア「KAI-YOU.net」の開発と運営を中心としながら、次世代のポップカルチャーの在り方を探求する。Web やデジタル領域から、イベントや展示まで媒体を問わないプランニングも行う。

「東京カルチャーリサーチ」とは ～東京カルチャーシーンの継続的な研究と発表の場～

「東京カルチャーリサーチ」は、絶え間なく変化する東京のカルチャーシーンを発見・研究し、その紹介をする場所です。東京が生み出すカルチャーの中でも、特にマンガ、ゲーム、アニメ、メディアアート等を深く掘り下げ、「東京シティビュー」としての独自リサーチとセレクションに基づき「東京の文化的特異点」を感じる作品を不定期で展示していきます。

展望台から見える東京の都市は、日々少しずつ変化しています。その変化は人の歴史そのものです。六本木ヒルズ展望台 東京シティビューでは、この東京という都市の内部で毎日生み出され消費されていく「何か」を「東京カルチャー」としてすくい取り、不定期の小展示という形で今後紹介していきます。

【スペース概要】

名 称 : 東京カルチャーリサーチ

場 所 : 六本木ヒルズ森タワー52階 THE SUN & THE MOON 内
約 17 m²の小展示スペース

入 場 料 : 無料 ただし、展望台・森美術館の入館料(一般 1,800 円他)が必要です



TOKYO culture research
「東京カルチャーリサーチ」ロゴ



「東京カルチャーリサーチ」イメージパース

東京シティビュー 基本情報

【名 称】 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー (森タワー52階/屋上スカイデッキ)

【営業時間】 平日および休日 10:00～23:00(最終入館 22:30)

金・土・休前日 10:00～25:00(最終入館 24:00)

スカイデッキ 11:00～20:00(最終入場 19:30)

12月25日(火)までは22:00まで営業(最終入場 21:30)

スカイデッキは天候不良等の理由により予告なく閉鎖する場合がございます。

【料 金】 一般 1,800 円 高校・大学生 1,200 円 4 歳～中学生 600 円 シニア(65 歳以上) 1,500 円

スカイデッキ追加券 500 円(4 歳～中学生 300 円)

【お問合せ】 (住所)東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階

(TEL)03-6406-6652 (公式サイト) tvc.roppongihills.com

リリース内の価格は全て税込

本件に関する報道関係者のお問い合わせ

【「東京カルチャーリサーチ」/東京シティビューについて】

株式会社 プラップジャパン / 三浦・中野・梅木・須藤 TEL:03-4580-9103 FAX:03-4580-9127 MAIL:pr.roppongi-hills@ml.prap.co.jp
森ビル株式会社 東京シティビュー広報担当 / 千賀・平田 TEL:03-6406-6173

【平成展について】

株式会社カイユウ / 米村・菱谷 TEL:03-6452-5875 MAIL:info@kai-you.net